

社会共創学部

●学部のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針, 卒業時に必ず身につける能力)

＜知識・実技＞

1. 文系や理系の広範な学問領域における教養や専門的知識及び高度な実技力を身に付けている。

＜思考・判断＞

2. 地域社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、的確な学際的考察及び総合的判断ができる。

＜関心・意欲・協働＞

3. 地域社会の諸課題に対して自ら積極的に関心をもち続けることができる。
4. 地域社会を新たな価値創造へと導こうとする意欲を有し、地域社会の諸課題の解決に取り組むことができる。

＜技能・表現＞

5. 地域社会の諸課題の解決に必要な情報を収集・整理・分析できる。
6. 自己の思考・判断のプロセス及び結果を他者にわかりやすくプレゼンテーションできる。

＜リーダーシップ＞

7. 地域社会の課題の解決に向けて、サーバントリーダーシップを発揮することができる。

●学部のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針, 入学時に問われる能力)

＜知識・実技＞

1. 高等学校で履修する範囲の基礎学力又は専門的な知識ないし実技力を有している。

＜思考・判断＞

2. 目標を達成するために、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。

＜関心・意欲・協働＞

3. 地域社会の持続可能な発展に関心を持ち、積極的に関わろうとする意欲を有している。
4. 様々な人々とグループワークしながら、主体的に問題の発見とその解決に取り組む姿勢を有している。

＜技能・表現＞

5. 他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書で表現できる。

●学部のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針、カリキュラムの特徴・特色)

社会共創学部では、社会共創力を身に付けさせるため、トランスディシプリナリー教育を取り入れます。このため、本学部の学生は地域社会を価値創造へと導く人材となるべく、課題解決思考力とサーバントリーダーシップを兼ね備えていることが求められます。本学部は、定められたディプロマ・ポリシーを達成するため、以下のようにカリキュラムを定めます。

・共通教育科目のカリキュラム(教育課程)

共通教育科目を通して、社会科学系・人文科学系及び自然科学系を含めた幅広い教養や語学を基に、社会人として必須の基礎力・汎用的基礎力を身に付けます。本科目は、DP(知識・実技)に強く関連します。

・専門教育科目のカリキュラム(教育課程)

共通教育科目を基礎に積み上げられる専門教育の汎用的能力を身に付けるべく、専門教育科目を用意します。本学部は、専門教育科目を基礎力育成科目群、実践力育成科目群、課題解決思考力育成科目群、専門力育成科目群、学位認定科目群の5つに科目区分します。

1. 基礎力育成科目群では、科学と地域社会が連携して知の統合を構築する視点を養う科目(社会共創学概論)、地域産業の発展を根底から支える地域企業の在り方に関する入門科目(経営入門)さらには、サーバントリーダーが備える能力・資質を理解し、ステークホルダーと協働する素養を身に付ける科目(サーバントリーダーシップ入門)を配置します。また、地域社会の現状と課題を把握するために必要となる基礎的な調査手法などを身に付ける科目(地域調査方法入門)を配置します。基礎力とは、理論基礎力と実践基礎力の双方です。本科目群は、DP(知識・実技)／(技能・表現)／(リーダーシップ)に強く関連します。
2. 実践力育成科目群では、専門知識の活用力・理論に裏打ちされた実践力を身に付けるために、アクティブ・ラーニングの手法を原則としたフィールドワーク科目を配置します。また、自己確立とキャリア探究の基礎を構築するために、インターンシップ科目を配置します。その上で、各学科の学生が地域社会における諸課題を解決する能力を身に付けるべく、実践力育成発展科目を配置します。フィールドワーク科目では、学年進行に応じて、実践基礎として学部共通(入門版)のフィールドワーク科目を配置するとともに、体感学習の場・知見実証の場である地域社会に出ることで、分析手法とデータの活用方法を学ぶべく、プロジェクト演習科目を配置します。本科目群は、DP(思考・判断)／(関心・意欲・態度)／(技能・表現)／(リーダーシップ)に強く関連します。
3. 課題解決思考力育成科目群では、多様な課題を発見・解決するための素養を引き出すため、各学科の固有の専門領域横断的な科目を必修科目として配置するとともに、専攻

以外の専門分野の基礎知識を総合的かつ体系的に学ぶ学際的パッケージ科目を配置します。

本科目群は、DP(知識・実技)／(技能・表現)に強く関連します。

4. 専門力育成科目群では、基礎力育成科目群で修得した社会共創基礎力を基礎にした上で、より高度な専門知識や理論を修得することで、実践力育成科目群において、地域社会の具体的な問題解決を行い、各学問領域における専門知識を現場で応用できるよう、各学科で必要とされる高度で深みのある専門科目を必修化し、それに関連する科目を学問系列ごとに分けて履修コース科目として配置します。さらに、実践力育成科目群で生まれた新たな関心・意欲に応え、幅広い学問領域における専門知識を体系的に修得するため、他学科・他学部科目の履修を推奨します。

本科目群は、DP(知識・実技)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)に強く関連します。

5. 学位認定科目群では、学科 DP における能力やスキルの集大成である社会共創力を修得しているかどうかの評価・判断されます。この科目群には、それまで修得できた知識やスキルを統合し、複眼的な視点から問題の解決と新たな価値創造につなげていくために、卒業研究・自由課題研究を設け、少人数教育として懇切丁寧な個別指導を行います。また、卒業認定に向けたこれまでの正課教育・準正課教育・正課外活動での学習の振り返りを行った上で、学位認定に必要な知識や情報を収集し、自ら課題解決の策定及び成果発表をサポートする社会共創演習科目も併せて配置します。

本科目群は、DP(知識・実技)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)／(技能・表現)／(リーダーシップ)に強く関連します。